

東熊会会員による「里帰り講話」概要

日 時	平成30年1月26日(金) 14:10~15:10
場 所	天草市立本渡中学校
対 象	同校生徒、教職員等
講 師	ハリウッド大学院大学特任教授 上妻 博明 氏
参加者	263人(生徒253人、教職員等10人)
テーマ	働く~今の現状を取り巻く環境と自らの体験を通して~

【講話概要】

○経歴と国会議事堂などの建物の紹介。

仕事の思い出

新しい法律を作るに当たって、大学で教えてくれないと、判例(参考となるもの)もない。自分で考えていかなければならない。

○諸君(中2の生徒)を取り巻く環境

日本は人口減少と高齢化社会。2040年には日本の人口は1617万人減少する。65歳以上の割合は12%増加するのに対し、15~64歳は9.4%減少する。

「グローバル化」。21世紀は情報社会。これ以上、世界的に広がるものはない。

アップル社の話。

iPhoneの発売依頼、売り上げを5倍以上に。工場も持っていないのに、アイデア一つで大きな富を得る。

S字カーブ

第1のS字;鉄道、第2のS字;道路石油化学、自動車、第3のS字;下水道、治水、高速道路、空港 第4、第5のS字は・・・?

物資、エネルギー、情報ときて、これからはライフが重要視される時代。みなさんが働く時代は、グローバルではなく、ローカルの時代となる。高齢化に伴う医療・福祉、様々な対人サービス(機械がかなわないもの)、自然エネルギーや環境関連分野、文化や街づくりやデザイン、農業などのローカルな経済が中心の社会となる。

IOT(インターネットオブシング:もののインターネット)

あらゆるものがインターネットを通じてつながる。IoT社会への適応力をどのようにつなげるかがかぎ。若い人材の成長が必要。

○働くのに大事なことは、総合力をあげること。総合力=人間力=受動的な力×能動的な力。受動的な力は、学校で勉強しているような筆記試験で測られている力、能動的な力は、自分から何をやるのか、どうやってやるのか考える力のこと。どちらも大事。

すべての基礎は国語力。本を読む。疑問を持って本を読む。

予習することが大事。1年間の教科書を最初に読んでみるとよい。

○アップル創業者スティーブ・ジョブスより

Stay hungry Stay foolish

生徒の質問「今のうちに何しておけばよいか」に対して

まずは疑問を持つ。そこから興味を持つ。興味があると夢中になる。夢中になることから道は開ける。